

【SRA Holdings】Special Mail (No.214) 2022年11月

(株)SRA ホールディングス代表取締役社長の鹿島です。

本日、2023年3月期第2四半期決算を発表しました。

併せて、「決算付属資料」、「2022年10月 月次売上高速報」も発表しました。

今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/>

[2023年3月期 第2四半期業績(連結)前年同期比]

■売上高=10.0%の増収

■収益=「粗利益」、「営業利益」、「経常利益」、「四半期純利益」のいずれもが増益

◎売上高:209億49百万円(10.0%増)

・開発事業(17.6%増):金融業および製造業向けが増加

・運用・構築事業(5.7%増):通信業向けが増加

・販売事業(0.2%増):海外で減少したものの、国内での機器販売は増加

◎粗利益:52億36百万円(13.2%増) 粗利益率:25.0%(前年同期 24.3%)

◎販売管理費:24億53百万円(9.6%増)

◎営業利益:27億82百万円(16.5%増) 営業利益率:13.3%(前年同期 12.5%)

◎経常利益:50億21百万円(91.5%増) 経常利益率:24.0%(前年同期 13.8%)

◎四半期純利益:25億64百万円(51.8%増)

[2022年10月 月次売上高]

(株)SRA・国内子会社=単月・累計ともに前年比増加。順調に進捗

(株)AIT=単月・累計ともに前年比増加。堅調に進捗

海外子会社=円安の影響もあり、単月・累計ともに前年比増加。

<発表資料> https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2022.html

第2四半期の業績につきましては、主力の開発事業が牽引して前年同期比で増収、高収益ビジネスモデルへのシフトの進捗により粗利率が向上、本業の成果である営業利益も増加しました。これに加え、急激な円安影響による為替差益により経常利益は大幅増益となりました。

今後もグループ一丸となり、受注・売上の拡大を目指すと共に、更なる収益性向上にも努めてまいります。皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。